



▲市民文化フェアの会場で開催された「第22回所沢民踊まつり」。28団体、延べ約800人の皆さんが、青空の下楽しく踊りました。4月3日(土)／所沢航空記念公園 (撮影：市民カメラマン・岩田洋一)

# みんなのひろば



▲満開の桜の花が咲く中、2日間で約9万人が訪れた「第25回市民文化フェア」。旧山古志村からは闘牛もやってきました。4月3日(土)、4日(日)／所沢航空記念公園



▲全国から選ばれた16チームが所沢に集まり『第1回所沢市長杯全国社会人女子9人制フレッシュバレーボール大会』が開催されました。4月18日(日)／市民体育館 (撮影：市民カメラマン・中村 仁)



▲「花と緑のボランティアの会」の皆さんが、今年もたくさんのごいのぼりを飾りました。その下で、子どもたちが元気に遊んでいました。(飾り付けは5月13日(木)まで) 4月8日(土)／緑町中央公園

## 目指せ 低炭素化! 温暖化をとめよう



### 「低炭素化ってなんだ?」

今号から「地球温暖化問題」のさまざまな情報を掲載します。低炭素化の主役は皆さん一人ひとりです。温暖化防止の意識を行動に移し地球環境を守りましょう。

#### ◆低炭素化ってなんだ?

日本は2050年までに温室効果ガスの排出量を1990年から80%減らして、化石エネルギー中心の社会から脱却する低炭素社会を目指そうとしています。温室効果ガスの主役「二酸化炭素」の排出量を減らす低炭素化を進める必要があります。

#### ◆地球温暖化の原因は?

IPCC(気候変動に関する政府間パネル)では、20世紀半ば以降の地球温暖化は、人間の活動による温室効果ガスの増加がもたらした可能性がかなり高いとしています。石油やガスなどを使うことで、地中にあった炭素が、森林や海が吸収する以上に大気に放出されたことが原因です。



1978年5月

#### ◆地球で何が起きているの?

地球の平均気温の上昇、世界平均海面水位の上昇、山岳氷河の溶解による泥流や岩なだれの発生が確認されており、今後、感染症の拡大、水不足、食料不足の発生が指摘されています。



2004年8月

#### ◆低炭素化を進めよう!

低炭素化を進めるため、一人ひとりが自分の生活、さらには社会の仕組みを今一度見直し、何をどのように変えるべきか、何が変えられるのかを考えていきましょう。

所沢市はチャレンジ25キャンペーンに参加しています  
問い合わせ 環境総務課 ☎2998-9133 ☎2998-9394

チャレンジ25  
未来が変わる。日本が変わる。

## はっらっ 野老っ子



4月9日の吾妻保育園での出来事です。園庭で園児たちが遊んでいると、どこからか園児の「泣きわめく声」と先生の「助けてー」の声が聞こえました。声が聞こえる方を見ると遊具などをさびさせて子どもたちの夢を奪う鉄錆のボス「サビラー」と「戦闘員」が先生をいじめていました。そこへ誰かの「ペンキレンジャーを呼ぼう」との声が…。「ペンキレンジャー!」園児たちの声で現れたのが、ウエー工業の塗装職人の皆さんで結成した『塗装戦隊ペンキレンジャー』です。今回は、市内保育園の遊具を園児と一緒に塗ろうという社会貢献活動をしているペンキレンジャーのリーダーで、ペインターレッドの室岡良佑さんをご紹介します。昨年5月、室岡さんは物を大切にすることを育てたいとの思いから、泉町保育園の遊具を園児と一緒にペンキ塗りを行いました。しかし、それだけでは面白くないと思い、今回「作業前にペンキ塗りにちなんだ寸劇を演じ、園児たちにペンキ塗りに興味を持ってもらい、いつも遊んでいる遊具に自分たちでペンキを塗ることで、物を大切にすることを育てる機会になればと、塗装戦隊ペンキレンジャーを考案した」と室岡さんは少年のように目を輝かせながら誕生秘話を話してくれました。

## 子どもたちとペンキ塗り 「塗装戦隊ペンキレンジャー」

ペインターレッド 室岡 良佑さん(宮本町)

吾妻保育園で寸劇を披露し「塗装はペンキを塗り重ねて仕上げます。今回の寸劇も塗装と同様に練習を積み重ねた結果、成功することができました。私たちのチームワークもさらによくなり本当にやってくれました」と話す室岡さんは満面の笑みを浮かべていました。

室岡さんは園児たちと協力し、本当は一緒に遊びたくて意地悪をしたサビラーたちを倒し「みんなで一緒にペンキを塗ろう」と声を掛けました。はじめ逃げ回っていた園児たちが、本当のことを話して謝ったサビラーたちと一緒にペンキを塗る姿を見て「友達とけんかをしたときの仲直りの方法も教えられるのかな?」と照れながら話しました。

最後に「子どもたちに喜んでもらえて、仕事の励みになった。これからも続けていきたい」また、「私たちがペンキレンジャーだということは、くれぐれも子どもたちには内緒にして欲しい」と言い残し、室岡さん…いや『ペインターレッド』は去って行きました。



▲園児とペンキ塗りをするペンキレンジャー

### 幼児用の赤い長靴

美原町 田中 雪江

形あるものとしての宝物は「幼児用の赤い長靴」2足です。パンプスなどのフリンボイント付で、何回かの転居でも持つてきました。40年近く前、若くして2児の母親となり、生活苦からパートの仕事に就きました。二人が保育園に通うころ、雨の日の送り迎えは大変でした。特に長女は、同じ年のほかの子は抱っこされているときに、親の背中には妹がいるし、荷物もあるしで、小さな傘をさし黙々と歩いてくれました。その姿は、いとおしく思っていました。心のなかにゴメンネとつぶやいておりました。今は、それぞれ母となった娘たちも一緒に頑張っていた当時を涙とともに思い出させてくれる私の宝物です。



▲写真本人提供

## 誰でも エッセイ

### 永遠の宝物

上安松 西山 麻美

数年前までの私の宝物は、指輪やバッグなどでした。それが、妊娠がわかってからは、お腹の中の赤ちゃんに変わりました。緑の返した流産、もう無理かなとも思った矢先に新たな小さな宝物はお腹で育つ事ができました。そして、1か月近く早く無事に産まれてきた宝物の息子も、今はもう1歳5か月! 毎日走り回り、笑って、泣いて、怒って、私も一緒にどんどん成長中です。これからも、このやんちゃな宝物を壊さないようにずっと見守っていきなさいと思います。あっ、仕事が忙しいのに、いつも育児を手伝ってくれるパパも私のかけがえのない宝物だからね(笑)



## ところざわ 歴史まめ知識

今号から、所沢市域にかかわる歴史的事項を50音順で紹介していきます。ご期待ください。



### あ 赤門

江戸時代に三ヶ嶋流眼医師として知られた鈴木家の門。鈴木家は、旗本を先祖とし、後に三ヶ嶋に土着して、三嶋館赤門と大明堂黒門の二つの医家を輩出しました。両家は、明治期まで地域医療に尽くしましたが、なかでも赤門の系統の鈴木一貫

(1759~1824)は、眼科のみならず、さまざまな病の治療をほどこし、とくに貧しい人びとに対する医療に力を入れたことで知られました。赤門自体は、昭和10年に作家の中里介山が譲り受け、現在は羽村市郷土博物館で保存・公開しています。ちなみに、黒門は入間市宮寺の西勝院に移築されています。



▲赤門(羽村市郷土博物館)

東川 市域のほぼ中央を西から東へ流れ、坂之下で柳瀬川に合流する一級河川です。明治時代の地理書には、「谷戸川」「懸水」と紹介され、用水より排水路としての役割が大きかったようです。水源は、三ヶ嶋一丁目の下田橋からさらにさかのぼった狭山丘陵北麓谷になります。水源付近はかつて湿地帯でした。

荒幡の富士 市内荒幡にある富士信仰の山で、明治32年(1899)に完成しました。当時荒幡村の村社であった浅間神社と村内の3つの社を一にするのを機に移築し、境内の富士塚も新たに築くことになり、村内融和のため村民総出で15年を要して築きあげました。平成10年には100周年を迎え築山百年祭を開催しました。

問い合わせ 生涯学習推進センターふるさと研究 ☎2991-0308 ☎2991-0309